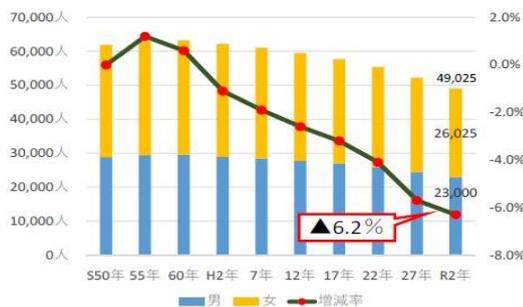


## 1. 要旨

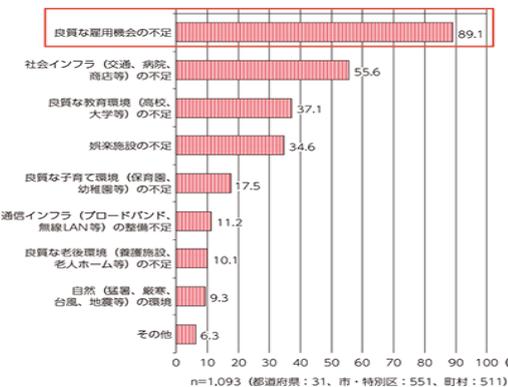
私達は、少子高齢化で衰退が続く街の復興のために、ふるさとの良さをみんなに伝える研究をしました。特に、自分たちが忘れていた街の良さを重点的に調べました。

## 2. 研究背景/目的・意義

山鹿市並びに菊池市は、魅力ある熊本の市の一つである。桜湯を始めとする多くの温泉街や豊前街道で賑わった山鹿市。菊池溪谷から豊富な水資源が湧きで、自然と街が調和した菊池市。しかし近年、どちらの市も人口減少が深刻化している。山鹿市では、昭和55年をさきくに人口(約60000人)も増加率も下降傾向であり、現在(2022年7月末)49707人である。(R4 山鹿市)



なぜこんなに魅力があるのに、人口は減るのだろう？その理由の一つが、働く場所・教育施設の不足による人口流出だ。都会ではいい働き口はいくらでも見つかるが地方ではそれが難しい。



では、観光や、魅力を発信して人を呼び込むことはできないだろうか？

そう考えて私達はこの研究を行った。

## 3. 研究方法

まずは私達自身が、山鹿市と菊池市の特産品についてある程度わかっていないと多くの人に魅力を発信することができないと考え、インターネットで文献を調べた。調べていく中で、知らなかった特産品や、名前がわからなかったものもわかることができた。

また、調査だけにとどまらず、自分の口で食べて自分の言葉で感想が言えないと魅力を知ったことにはならないと考え、一部の特産品を試食した。これとは別に、みんなが自分たちの住んでいる地域についてどう考えているか？魅力を知っているのか？ということの調査を行うためにアンケートを実施しようと考えた。

最後に、アンケートの内容や、私達がこれまで調べた内容をまずは鹿本高校生にどのように発信するか？ということを検討して伝えるところまでいきたいと考える。

## 4. 結果・考察

山鹿市、菊池市の特産品には以下のようなものがある。

### 山鹿羊羹

控えめな甘さのこし餡を、うるち米を蒸して作った牛皮で包んだ和菓子です。独特の形から昔は巻き羊羹と呼ばれていました。山鹿を代表する名物おやつの一つです。

### 灯籠せんべい

水を使わず卵の水分だけで練り上げ焼き上げた、やさしい味がする伝統菓子です。

### 灯籠もなか

毎年8月に開催される山鹿灯籠まつりで女性たちが頭にのせる“金灯籠”をかたどった形で、パリッとした皮の中にあんがたっぷり。灯籠の形をした最中は、山鹿の代表的なお土産です。皮の香ばしさと餡のまるやかな甘さが口の中に広がります。3軒の老舗のそれぞれの甘さや形を楽しむことができます。

### 岳間茶

このお茶は、江戸時代から肥後藩主細川家の御前茶として献上されてきた伝統ある銘柄です。高い香気、色鮮やかな緑色、まるやかで上品な味わいで人気があります。

### 菊鹿ワイン

醸造家と栽培農家の情熱でゼロから作り上げ、最高の品質を追求した結果、素晴らしいワインの数々が誕生しました。菊鹿ワイナリーでしか味わえない限定ワインを展開中。また、併設するショップでは、季節で変わるジェラートと特産の栗を使用したスイーツや山鹿の特産品を販売しています。

### 七城米

菊池川の清らかな水が育んだ肥沃な大地、阿蘇伏流水の豊かな湧き水、花崗岩からなる土壌と工夫を凝らした技術 — これらによって、香り高く甘味と食感のある美味しいお米ができます。

### 七城産メロン

メロンに含まれている糖分が「光を吸収する」という性質を利用し、販売しているメロンは、すべて光センサー(糖度測定器)にかけ糖度を厳しくチェックしています。

### 松風

厚さ1.2mmの極薄生地、単純に薄いだけではなく、パリパリとした食感に加え、上品な甘味と芥子(ケシ)の実のコクがあるので良くある甘い煎餅とは全くの別物です。

## 5. 結論・今後の展望

結論として、私達が知らなかった地元の特産品や、その特産品の歴史について知ることができ、その点に関しては有意義なものになったと思う。しかし、インターネットだけでしか調査をせず、実際に特産品の生産者の方のところに足を運ばなかったところが課題点だと思った。

まずは、どのくらいの方が自分の住んでいる地域の良さがいえるのかアンケートをとり、そして、でた結果をもとにまとめ、ふるさとの良さをまとめたシートを発信していきたいと考えています。どのように発信していくかはまだ検討中です。

## 6. 引用文献・参考文献

山鹿市公式hp  
 総務省hp  
 GD freak (各グラム)  
 北陸財務局  
 workviton  
 MUHG  
 不動産プラザ